

令和6年9月議会決算
代表質疑において

行政委員の月額報酬の見直しを提案

ご存じですか?
行政委員の報酬

行政委員とは、

- ・監査委員会は役所の業務の監査
- ・教育委員会は学校の管理など
- ・選挙管理委員会は選挙について
- ・人事委員会は役所の人事関連について

対応する委員会

月に1~2回の定例会や
打ち合わせ等だけで

月額32万円も!

教育委員会(5名)	委員	320,000円
人事委員会(3名)	委員長	360,000円
	委員	320,000円
監査委員	代表監査委員	360,000円
	その他の者	320,000円
市選挙管理委員会(4名)	委員長	320,000円
	委員	270,000円

市民に現状を公表し意見を聞くため

外部委員会の設置を要望

兵庫県や他政令市では
日額制の導入が進んでいます。
神戸市も現在の月額制を
日額制に見直すことで

コスト削減!

総括質疑 (令和6年10月9日)



黒田 武志 議員

部活動の地域移行に伴う世代間交流の促進

黒田 部活動の地域移行(コベカツ)に関しては、地域の受入体制や人員、場所の確保に関する懸念、家庭の経済的負担増など重要な課題がある。生徒のことを第一に考え、地域間での不公平を生じさせることなく、安心してはつらつと部活動に向かえる環境整備に早急に取り組んでいただくよう強く要望します。ただ地域移行への方針が決まった今、否定ばかりするのではなく、神戸のまちづくりを前に進める大きなチャンスとして、全市一丸となって地域活動を最大限に活用すべきです。例えば文化系の場合、地域福祉センターを活動の場として有効活用してはどうでしょうか。現在利用されている方々には十分な配慮は必要ではありませんが、学生が地域活動に触れることで世代間交流が促進され、地域全体の絆が深まる貴重な機会の創出がなされると考えるが見解を伺います。

小原副市長▶ 地域福祉センターは様々な団体が行う地域活動の拠点施設でもあるため、地域活動と部活動の地域移行との両立に向けた利用調整も必要です。部活動の地域移行をきっかけに、中学生と現役世代やシニア、教育機関、NPO、地域団体など多様な活動主体との交流を深めることは意義があります。教育委員会と情報共有を密にし、部活動の地域移行の手法の一つとして検討を進めて参りたい。

一般質問 (令和6年10月24日)

神戸文化ホールの跡地にアートパーク(芸術公園)を

岩谷 跡地利用については、①地域住民や観光客など世代や国籍問わず愛され、②大倉山の文教地区としての性格、海と山に挟まれた文化都市・神戸のコンセプトに調和し、③他都市にはない神戸独自の価値を創造できる場所になるべく、アートパーク(芸術公園)としての活用を提案します。四季折々の自然とアートが調和する屋外空間を創出、その際、自然音と音楽が融合したサウンド・インスタレーション(音響芸術作品)を設置。また様々なパフォーマンスの発表、鑑賞の場となる屋外ステージ、夜間はライトアップすることも可能です。ハコモノを建設すると将来的に大きな維持管理コストが発生するため、芸術と自然に触れ合うことの出来る空間を整備してはどうかと考えます。

小原副市長▶ 誰でも気軽にアートに触れたり、パフォーマンスを発表することができる屋外型の空間というのは、文化芸術による街づくりを進める上で重要な視点であると認識しています。今後の街づくりにおきましても、こういった視点を持ちながら進めていくと共に、跡地の活用にあたりましては、全市民的な観点から幅広く検討を進めていきたいと考えています。



岩谷 しげなり 議員



山本 のりかず 議員

市民が安心できる防災対応(防潮鉄扉)について

山本 海岸保全施設である防潮鉄扉は、開閉について神戸市直営のもの、民間に委託しているものがあります。2024年8月の南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」の発表を受け、神戸市から委託先に対し、終業時の閉鎖体制の確認と、終業時の閉鎖の徹底を依頼していたと伺いましたが、1ヶ所閉鎖されていない鉄扉がありました。原因としては、鉄扉の海側にバイクが駐車されていたためです。鉄扉が閉鎖されていなければ市民は不安に思い、混乱が生じる可能性があります。今後も巨大地震注意が発表される可能性は十分にあるため、早急に対策を取るべきと考えます。また、民間に協力依頼している鉄扉の確実な閉鎖と負担軽減に向け、鉄扉の遠隔操作化の対象を拡大してはどうかと考えます。

今西副市長▶ 現在のところ遠隔操作化の対象とは考えていないところです。市民が不安に思わず安心していただけるように、今後閉鎖の指示を出した場合は迅速・確実に閉鎖を行うように、改めて委託企業への指導を徹底させていただきました。今後も防潮鉄扉の適切な維持管理や確実な閉鎖体制の確保に確実に取り組んでまいります。

徹底した行政改革を目指し、
まずは、政治家自らが

身を切る!

身を切る改革は、日本維新の会神戸市議員団が市民に約束した最重要事項です。公約である議員報酬2割削減の実現に向けて、引き続き率先垂範してまいります。

身を切る改革
を実現しました!!

令和6年分

20,936,192円を

石川県(珠洲市能登半島地震災害義援金)(令和6年能登豪雨災害義援金)に寄付しました!!